令和元年度 家庭教育オピニオンリーダー研修⑥ 実施報告

実施日：令和元年 10 月 30 日（水）

○　講話・演習「カウンセリングマインドを生かした相談の在り方」

栃木県総合教育センター教育相談部　細井三知代　指導主事

同　飯村　伸子　指導主事

今回の研修は、当センター教育相談部の細井指導主事と飯村指導主事から、カウンセリングマインドを生かした相談の在り方について学びました。

細井指導主事からは、なぜ「カウンセリングマインド」が大切なのか、「きき手」に必要な基本的な態度はどのようなことかなど、具体的な例を示しながら詳しく説明していただきました。傾聴、閉じた質問と開かれた質問、肯定的な表現で返す、といった、気持ちのよいコミュニケーションの取り方について、受講者は理解を深めました。

飯村指導主事の演習は、受講者同士の気持ちの距離感を縮める「全員とあいさつ」、言葉に頼らないコミュニケーション「バースデイライン」から始まりました。その後、２人組になって、話す順番や感情を意識した聞き方、話し方に関する演習に取り組みました。相手の話を聞くときは「知…考えていること」「情…感情」「意…やりたいこと」を分かろうとすることが大切である、ということを、受講者は体験をとおして学びました。

☆受講者の声（アンケートから）

・話し手（相談者）が本当に伝えたいことは何なのか、どんな気持ちで話しているのかをしっかり受けとめることの大切さを改めて感じました。

・「話し手」「きき手」の両方を実践できて、深く学習することができ良かったです。今まで「きき手」の時は話のじゃまにならないよう気を付けていましたが、うなずいたり、相づちを打ったりすることも有効だということを知りました。今後は、「きき手」の時、これらに注意して上手な「きき手」になれたらと思いました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206　e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp